

■平成25年度第14回（第230回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 平成26年3月25日（火） 午後4時30分～午後4時45分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、遠藤副市長、木下副市長、本間副市長、教育長、水道事業管理者、技監、政策局長、総務局長、財政局長、行財政改革推進本部長、総合政策監、政策局理事

【議 題】（2）さいたま市成長戦略の概要について

< 提 案 説 明 >

市長のマニフェストであるさいたま市成長戦略（以下「成長戦略」）の概要を取りまとめるため、政策局から次のような説明があった。

- ・ 成長戦略を取りまとめるに当たって、まず、その「背景」として、本市の今後において、少子高齢化や人口減少に伴い、一般会計の歳入減・一人当たりの市民所得の減といったトレンドがある一方で、公共施設の老朽化による歳出増などの諸事情を踏まえなければならない。
- ・ 次に、国、他の指定都市の成長戦略を概観した上で、「スピーディーな展開」「民間活力の活用」「経済活性化につなげる」といった推進方針をもって、東日本の中枢都市として成長・発展し、「市民や企業から選ばれる都市の実現」を目指していく。
- ・ また、成長戦略の実施期間としては、平成25年度からの4年間を目安としながら、東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される平成32年度を視野に入れ施策を位置付けていく。
- ・ 目標としては、市の成長率を表す「市内総生産」、定住人口を増やすという観点での「生産年齢人口」、交流人口を増やすという観点での「鉄道乗降客数」をそれぞれ数値目標を定め、それぞれの指標を増やすと定めている。
- ・ また、成長戦略本部、7つのプロジェクトチームといった、全庁を挙げた推進体制を構築し、スピード感を持って推進するとともに、各施策が着実に実行されているか、適宜進行管理を行っていく。
- ・ 50の施策に関しては、7つのプロジェクトチームごとに工程表を作成し、目指すべき方向性を表すとともに、各施策の概要、目指すもの、現在の状況、短期・中長期の期間における工程を示している。

< 意 見 等 >

- ・ 成長戦略の中で、数値目標を増やす施策は、具体的にどれになるのか。
- 具体的には、大宮駅グランドセントラルステーション化構想や市街地整備事業など

が挙げられる。

< 結果 >

- ・ 政策局発議のさいたま市成長戦略の概要については、了承とする。

< 会議資料 >

(資料1) さいたま市成長戦略の概要

(資料2) さいたま市成長戦略工程表